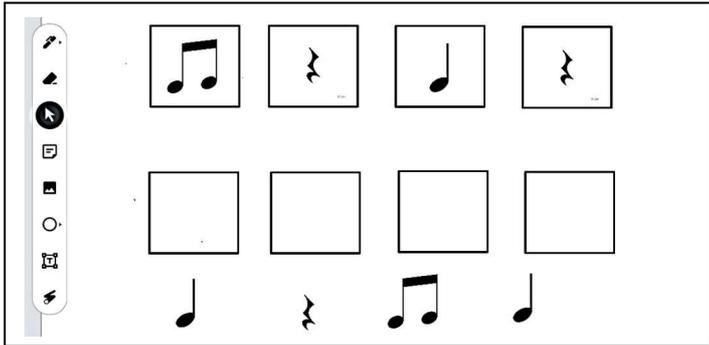


教材・支援機器活用実践事例【ICT】

リズム作成への抵抗感を減らすための ICT 活用
「Jamboard を使ったリズム作り」

子どもについて	所属・学年	特別支援学校 高等部1年（重複障がい学級）
	障がい名等	病弱
	子どもの実態 （学習上又は生活上の困難さ等）	<ul style="list-style-type: none"> ・自分に自信がなく、過度に間違いを嫌うため、新しい学習に取り掛かるまでに時間がかかる。 ・言葉の使い方や態度に課題があり、友達と円滑なコミュニケーションをとることが難しい。
授業について （教材・教具を使用した授業や指導場面）	教科名等	音楽
	単元(題材)名	単元名「ボディパーカッション」
	単元(題材)の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ボディパーカッションに親しみ、リズムの重なりを感じて楽しく演奏する。 ・演奏するリズムを自分で作ることで、作曲する際の決まりを知り、イメージを形にする面白さを体験する。
教材・教具支援機器について	教材・教具 支援機器	<ul style="list-style-type: none"> ・ Jamboard によるリズム作成 
	ねらい・工夫点	<p>〈ねらい〉</p> <p>○貼り付けられた音符や休符を自分で自由に組み合わせて、2小節分のリズムパターンを作ることができる。</p> <p>〈工夫点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音符や休符を描くことに困難さがあったので、あらかじめ数種類の音符や休符を Jamboard に貼り付け、自分で空白の枠内にスライドさせることで、4拍子（2小節分）のリズムパターンを作ることができるようにした。
	材料・作成方法等	タブレット端末、アプリ（Jamboard）、モニター
子どもの変容や評価		<ul style="list-style-type: none"> ・以前、自分で音符を描いてリズム作成をした際には、納得のいくように音符を描けずに全く活動が進まなかったが、今回は音符を選んで枠の中にスライドさせるだけなので、色々と試しながら余裕をもって取り組むことができた。 ・友達が作成しているリズムも Jamboard によって見ることができるので、お互いに参考にしながら進める姿が見られた。

(令和3年度)